

科目コード	R24245	科目名	園芸療法				
履修区分	選択	開講期	2年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	高松 雅子						
授業の概要	近年、注目されている園芸療法・園芸福祉について、その概念の理解と実習を通してリハビリテーションへの具体的適用について学ぶ。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						
	理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている						-
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						-
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						
2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。							
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	社会的意義と医学的効果について論理的に修得し、実施プログラムを策定できる。						
履修上の注意事項	初級園芸福祉士の受験資格を得られる。受験料は6000円。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	第1章 いま、なぜ園芸療法、園芸福祉なのか？植物の導入 第2章 活動を地域の中に普及する				園芸療法で得られる効果を考えてみる（60分）	
	2	第4章 植物の効果と療法ガーデンでの園芸作業				植物はどんな効果をもたらすか考えてみよう（60分）	
	3	討議：園芸療法ガーデンの視点 グループ討議				園芸療法ガーデンのデザインをイメージしてみる（60分）	
	4	実習：モデルガーデン作り				花壇の植栽方法を調べておく（60分）	
	5	第3章 園芸療法コミュニティと市民農園 実習：園芸療法 ガーデンモデル 討議とプラン作り				家の周りの市民農園を探してみよう（60分）	
	6	第5章 園芸療法プログラム実践方法				園芸でどんな療法的プログラムを計画できるか考えておく（60分）	
	7	討議：園芸療法プログラムの進め方 グループ討議 実習：プログラムの実践（視覚障害の人楽しむ挿し木）				障害を持った方との園芸の進め方を考える（60分）	
	8	初級園芸福祉士試験に関して / 試験				授業の振り返り、重点をまとめておく。	
成績評価方法	期末試験 50%、授業内ワークシート 30%、授業関与度 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	園芸福祉入門・日本園芸福祉普及協会（創森社）					978-4-88340-208-3	
参考書							
教員からのメッセージ	時間を守ること。携帯によるメール私語等の禁止。 テキストで予習して講義に臨むこと。随時、参考文献や資料の紹介をします。ノートや資料のファイリングをすること。						
教員との連絡方法							
実務経験のある教員	高齢者施設・障がい者施設での園芸療法実務経験を活かし、プログラムに応じた講義及び実習を行う。						